

【取組内容①】 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実につながるクラウド活用（1 / 2）

1. 本実践のねらい

生徒が「生涯にわたって自ら学び続けられる」力を獲得するために、「教師が分かりやすく学習内容を教える授業」から「生徒自身が情報活用（探究のプロセスで培った）のスキルを駆使して、“自分のペースを尊重されながらも、必要に応じて協働的”に学習内容を学びとる体験のできる授業」へと授業観を転換した実践を行うとともに、それを広めていくこと。

2. 実践内容

2-1.課題設定

授業開始時に「クラスルーム」から自分の進捗に合わせた課題を選択する（早く学習課題を達成する生徒の要望に応じて、次の時間の授業内容をアップロードすることもある）。次に、本時の「学習課題」とその「評価規準（簡単なルーブリック）」を確認する。このタイミングで、生徒はスプレッドシートに入力を始める（図2）。評価規準の下にスクロールして「授業の手順（学習課題の解決に向けたプロセスを例示）」を確認する（図1）。また、クラスルームにはスプレッドシートや課題解決の情報源となる資料、それをまとめるジャムボード（白紙共有・他者参照）のリンクも貼り付けてある（図2）。

2-2.情報収集

学習課題の解決や学習内容の理解に向けて「教科書・Web・動画・先生」などから情報源を選択して情報を収集する。このとき、生徒は教師からミニ授業を受けるか、個人で取り組むか等、自分の学習方法も選択できる（図3）。

天気4章【2時間目】

【授業手順】
 * 0~4の自分の進み具合はスプレッドシートで共有する

0. 課題把握・課題設定（スプレッドシート）
 ・ 目標設定と情報収集の手段を決める
1. 情報の収集
 ・ 「教科書p.113-114/動画/web/級友」を情報源にして、キーワードを付箋に出す（ジャムボード）
 ・ 「先生によるオンライン授業」を受ける（Meet/ロイロ）
2. 整理・分析・まとめ
 ・ キーワードを並べ替えたり固ったりして、知識を構造化する（ジャムボード）
 ・ レポートをまとめる（ロイロ）→ジャムボードに貼り付け
3. 表現
 ・ 学習課題についてまとめたジャムボードを見ながら他者にアウトプットする
 ・ 単元を通して、級友全員とのアウトプットを目指す（同じ人と話なるべく行わない）
4. 再構築・振り返り・改善（スプレッドシート）
 ・ 学習課題に対して、自分が理解できたことをまとめる（「学習内容」について）
 ・ 本時の自分の学び方に対して、理解を深める上で良かったことと改善点を振り返る（「自分の学び方」について）

クラスルーム授業の流れ

図1 クラスルームに提示している授業の流れと各種リンク

スプレッドシートで学習進度の共有

日付	目標設定	学習方法	情報収集の手段	整理・分析・まとめ	表現	再構築
	SABC	授業/個人	本、動画、web、級友、先生	ジャム	図表	報告
		授業				
		個人				
2023/11	S	個人				
2023/11	S	個人				
2023/11	S	個人				

学習方法の選択
個人 or ミニ授業

情報収集の手段の選択
教科書？動画？Web？先生？

授業の流れ

図2 スプレッドシート（学習進度、まとめ、振り返りの共有）



図3 授業前半の風景（学習方法の選択：個人 or 授業）